

(株)匠エージェント雨漏り調査費用 一覧表

調査内容	調査方法の説明	費用(税込)	備考
目視調査	屋根・外壁・天井裏・室内の状況を確認	無料	初回・簡易調査
散水調査	実際に水をかけて雨漏り箇所を特定	33,000 円	半日程度
部分散水調査	原因がある程度絞れている場合	16,500 円	ピンポイント調査
水分含有調査	屋根・外壁・天井裏・室内の状況を確認	11,000円	ピンポイント調査
赤外線カメラ調査	温度差で漏水箇所を可視化	29,800～129,800円	天候条件あり
調査報告書作成	写真付き調査結果まとめ	29,800～	ご依頼内容に応じて
雨漏り修理工事	原因箇所の補修・防水	別途見積	調査後に提示

補足文

雨漏りは原因を正確に特定しないと、修理しても再発するケースが多くあります。(株)匠エージェントでは、必要最小限の調査で原因を突き止め、無駄な工事を行わないことを大切にしています。

※3階建て以上の建物は、屋根形状・足場の有無・調査範囲により費用が変動する場合があります。

※業務に支障が出ないよう、調査日時・方法は事前にご相談の上で実施します。



赤外線カメラ調査 料金表

雨漏り原因の“見える化”

診断使用機材:HIKMICRO M60(高解像度 赤外線サーモグラフィ)



肉眼で発見できない雨漏りを
赤外線サーモグラフィカメラ
で発見！



TEL:093-383-8633

MAIL:info@takumiagent.com

(株)匠エージェント

(本社)北九州市小倉北区下到津3-3-18

(小倉店)北九州市小倉北区中井1-31-5

内容

赤外線サーモグラフィ調査とは	2
基本料金プラン(戸建て住宅向け)	2
【ライト診断】まずは状況確認	2
【スタンダード診断】★当社おすすめ	2
【プロ診断】原因特定・再発防止重視	3
追加料金(事前に必ずご説明します)	3
調査費 充当制度	4
使用機材について	4
ご理解いただきたい点	4
直す前に、原因を見える化	4

赤外線サーモグラフィ調査とは

赤外線カメラにより建物表面の温度分布を可視化し、
雨水の侵入や含水性が疑われる範囲を把握する調査です。

目視だけでは判断しにくい

「どこが濡れている可能性が高いのか」

「どこから水が回ってきているのか」

を整理し、無駄な工事を避けるための診断を行います。

基本料金プラン(戸建て住宅向け)

【ライト診断】まずは状況確認

29,800 円(税込)

- ・ ヒアリング・目視確認
- ・ 赤外線撮影(室内中心・限定範囲)
- ・ 赤外線画像:5 枚前後(撮影枚数は目安であり、状況により増減)
- ・ 可視画像:5 枚前後(撮影枚数は目安であり、状況により増減)
- ・ 代表画像の提示
- ・ 口頭による所見説明

所要目安:60~90 分

【スタンダード診断】★当社おすすめ

59,800 円(税込)

- ・ ヒアリング・目視確認
 - ・ 赤外線撮影(室内+外部の要所)
 - ・ 赤外線画像:10~15 枚(撮影枚数は目安であり、状況により増減)
 - ・ 可視画像:10~15 枚(撮影枚数は目安であり、状況により増減)
 - ・ 漏水経路の仮説整理
 - ・ 簡易レポート(2~3 ページ)提出
-

【プロ診断】原因特定・再発防止重視

129,800 円(税込)

- ・ 撮影点を増やした赤外線調査(再現性重視)
 - ・ 建物納まりを踏まえた切り分け
 - ・ 赤外線画像:20~30 枚以上(撮影枚数は目安であり、状況により増減)
 - ・ 可視画像:20~30 枚以上(撮影枚数は目安であり、状況により増減)
 - ・ 必要に応じた検証計画(散水等の提案)
 - ・ 詳細報告書(5~10 ページ)提出
(撮影条件・判定根拠・補修優先順位を整理)
-

追加料金(事前に必ずご説明します)

- ・ 雨漏り症状が複数系統の場合: **+15,000 円~**
 - ・ 散水検証(ご希望時): **+20,000 円~**
 - ・ 遠方出張・高所作業車・足場が必要な場合: **別途**
-

調査費 充当制度

当社にて補修工事をご依頼の場合、
調査費を工事代金から差し引きいたします。
(全額または一部／プランにより異なります)

使用機材について

HIKMICRO M60

高解像度センサーにより、微細な温度差を把握。
赤外線画像と可視画像を対比することで、
誤判定リスクを低減した評価を行います。

ご理解いただきたい点

- 赤外線調査は「濡れ」を直接写すものではなく、
温度分布からの技術的評価となります
 - 天候・外気温・日射・建材の影響を受ける場合があります
 - 記載の撮影枚数は目安であり、状況により増減します
-

直す前に、原因を見える化

当てずっぽうの補修を避けるための調査です

